

汽水域で生成・放出される地球温暖化ガスに関する研究

総合理工学部 講師 管原 庄吾

汽水域では、一般的に地球温暖化ガスの生成（特にメタン生成）は起こり難い。しかし、窪地等の水の交換が起こり難い水域の底層には、高濃度の地球温暖化ガスが蓄積していることもある。さらに、汽水域に繁茂した水草類が腐敗すると、高濃度の地球温暖化ガスが生成され、そのまま大気へ放出されていることも明らかとなっている。

汽水域における地球温暖化ガスの生成は、水質悪化に伴って生成される物質である。そのため、水質調査を通して汽水域の現状を把握するとともに、水質悪化抑止策の構築を目指す。また、地域課題に立脚した研究を行い、環境を大きな視点でとらえることのできる水環境のスペシャリストを養成する。

